



# 令和5年度 第1回 豊橋市外国人市民会議

## ～新しい豊橋市の日本語教室について～



- 日時 2023年9月3日(日) 午前10時00分～午前11時45分
- 場所 豊橋市役所 東館12階 東122会議室
- 概要 2024年に改定する豊橋市多文化共生推進計画において、新たな取組である「日本語教育の推進」をテーマに、豊橋市の考える日本語教室の説明をしたのち、それについて意見交換をしました。意見交換では、委員のみなさんが日本語を勉強するときに大変だったことや、外国人の視点からみた日本語教室の在り方について話し合いました。
- 参加者 豊橋市外国人市民会議委員(7名) 豊橋市 多文化共生・国際課(6名)

時間	内容
10:00	挨拶、自己紹介
10:15	新しい豊橋市多文化共生推進計画についての説明
10:30	意見交換会 「新しい日本語教室について」
11:40	まとめ
11:45	終了

●豊橋市の考える「新しい日本語教室」

はじめに、今回の市民会議のテーマである「新しい日本語教室」について、豊橋市の考える日本語教室を委員のみなさんにお伝えしました。

**【対象】**

- ・豊橋市に住むすべての外国人市民

**【教室のイメージ】**

- ・まずは、初めて日本語を勉強する人向けの教室
- ・日本人との交流ができる教室

**【その他】**

- ・市内の事業者とも協力しながら、仕事で使う日本語を勉強できる教室も開設できるように考えていく



## ●意見交換会

意見交換会では、下記①～④の質問を通して委員のみなさんから貴重な意見をもらうことができました。

### ①皆さんは、どのように日本語を勉強しましたか。

- ・仕事を通して勉強した
- ・市内の日本語教室で勉強した
- ・中学生新聞を読んで勉強した

### ②皆さんが日本語を勉強するときに大変だったことはなんですか。

- ・子どもがいるので教室に通うのが大変だったこと
- ・教科書で勉強した日本語と、実際に日本人が使っている日本語が違ったこと
- ・日本人はとても早口だったこと
- ・日本語が話せなくてつらかったこと

### ③新しい日本語教室では、日本人とお話しながら生きた日本語を勉強していくことを想定しています。これについて、どう思いますか。

- ・教室で勉強する日本語と実際に使われている日本語は違うので、生きた日本語を勉強できるのは良い
- ・勉強をしても実際に使う場面がないと日本語能力は伸びないので、交流型だといい
- ・教科書を今の時代に沿った内容にするなど新しいものを使ったほうがいい

### ④皆さんは、豊橋市にどんな日本語教室が必要だと思いますか。

- ・毎日通える教室
- ・オンラインで受講できる教室
- ・子どもから大人まで通えるような年齢に関係ない教室
- ・レベル1、2のように自分に合ったレベルを選べる教室
- ・あとから繰り返し見れるようにビデオ配信をする
- ・日本語を勉強するだけでなく、情報交換や相談ができる場所でもあるといい

意見交換会では、働く人の視点や子どもを持つ人の視点など、委員のみなさんそれぞれが違った背景を持っているからこそ出てくる意見がとても参考になりました。また、勉強する日本語と日常で話されている日本語が違うという意見から、生きた日本語を学べる教室は外国人のニーズにも合っていることがわかりました。

以上